

- 1 積の微分公式を用い、関数 $f(x)g(x)^2$ の導関数 $(f(x)g(x)^2)'$ を求めよ.

$$\begin{aligned}
 (f(x)g(x)^2)' &= f'(x)g(x)^2 + f(x)(g(x)^2)' \\
 &= f'(x)g(x)^2 + f(x)(g(x)g(x))' \\
 &= f'(x)g(x)^2 + f(x)(g'(x)g(x) + g(x)g'(x)) \\
 &= f'(x)g(x)^2 + 2f(x)g(x)g'(x)
 \end{aligned}$$

- 2 底面の半径が r で、高さが h の直円錐がある. r, h が時間 t とともに変化するとき、この直円錐の体積 V の t に関する導関数 $\frac{dV}{dt}$ を $r, h, \frac{dr}{dt}, \frac{dh}{dt}$ を用いて表せ.

$$V = \frac{1}{3}\pi r^2 h$$

$$\begin{aligned}
 \frac{dV}{dt} &= \frac{d}{dt} \left(\frac{1}{3}\pi r^2 h \right) = \frac{1}{3}\pi \frac{d}{dt} (r^2 h) \\
 &= \frac{1}{3}\pi \left(\frac{d}{dt} (r^2) \cdot h + r^2 \frac{dh}{dt} \right) \\
 &= \frac{1}{3}\pi \left(2rh \frac{dr}{dt} + r^2 \frac{dh}{dt} \right)
 \end{aligned}$$

入学年度	学部	学科	組	番号	検	フリガナ
						氏名

次の一連の問題の目的は、公式 $(x^n)' = nx^{n-1}$ が、任意の整数 n について成り立つことを証明することである。

3 【 n が自然数の場合】 任意の自然数 n について $f_n(x) = x^n$ とおく。 $f_n'(x) = nx^{n-1}$ であることを数学的帰納法で証明したい。

(I) $n = 1$ のとき、 $f_1(x)$ を定義に従って計算すると

$$f_1'(x) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f_1(x+h) - f_1(x)}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{(x+h)' - x'}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{h}{h} = 1$$

したがって $n = 1$ のときは成り立つ

(II) $n = k$ のとき成り立つとすると、 $f_k'(x) = kx^{k-1}$ 。いま、 $f_{k+1}(x) = f_1(x)f_k(x)$ だから、積の微分公式を用いて、

$$\begin{aligned} f_{k+1}'(x) &= (f_1(x)f_k(x))' = f_1'(x)f_k(x) + f_1(x)f_k'(x) \\ &= 1 \times x^k + x \times (kx^{k-1}) \\ &= x^k + kx^k \\ &= (k+1)x^k \end{aligned}$$

したがって $n = k+1$ のときも成り立つ

(I)(II) より、すべての自然数 n について $(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つ。

4 【 n が負の整数の場合】

a) 商の微分公式を用いて $\left(\frac{1}{x^n}\right)'$ を求め、 $(x^{-n})'$ を ax^b の形に表せ。

$$\left(\frac{1}{x^n}\right)' = \frac{(x^n)'}{(x^n)^2} = \frac{nx^{n-1}}{x^{2n}} = \frac{n}{x^{n+1}} = nx^{-n-1}$$

$$\therefore (x^{-n})' = nx^{-n-1}$$